

## LDL 吸着療法(LDL-A)施行中に AN69 膜を使用し良好な結果が得られた症例

上尾中央腎クリニック<sup>1)</sup>

○佐藤 典明<sup>1)</sup>, 村山 真大<sup>1)</sup>, 高橋 正樹<sup>1)</sup>, 島崎 沙由香<sup>1)</sup>, 太田 恵<sup>1)</sup>, 渡邊 ますみ<sup>1)</sup>,  
遠藤 清文<sup>1)</sup>, 吉江 祐<sup>1)</sup>

【目的】LDL-A 施行中の患者に対し、PS 膜から末梢循環動態の改善効果が報告されている AN69 膜に変更したところ、より改善がみられたので報告する。

【方法】治療効果を、下記の検査により評価した。PAIN VISION(PV)にて透析前後と LDL-A 後の電流知覚閾値(MPC)を毎回測定。PAD3000 にて、クール開始時、終了後の皮膚灌流圧(SPP)を測定。

【結果】MPC は、PS 膜では透析後に悪化するのに対し、AN69 膜では透析後に値が改善し、LDL-A 後にはさらに改善傾向にあった。SPP は、PS 膜使用時と同様、LDL-A 後に値の改善がみられ、治療を休止すると再び悪化していたが、LDL-A 後の値は AN69 膜使用時の方が大幅に改善されていた。

【結語】AN69 膜に変更後 MPC、SPP とともにさらに改善がみられたので、LDL-A 施行中に AN69 膜を使用することにより、さらなる治療効果を期待できるといえる。